

**私が訴え続けてきた危機が、
いま目の前にあります。**

私が以前から警鐘を鳴らしてきた「財政危機」は、残念ながら現実のものとなってしまいました。

「苦渋の決断」で市民にすべての痛みを押し付ける前に、市としてやるべき抜本的な改革があったはずです。

社会保障・家計への負担増 (医療・年金・福祉)	【増税】国民健康保険料の大幅値上げ (令和 8 年 4 月～)	一人加入で 年間約 20,000 円 、家族加入で 年間約 31,000 円 もの 負担増 となります。
	子ども医療費の助成削減	高校生と課税世帯の中学生に対し、これまでなかった窓口での 自己負担が新設 されます。
	がん検診補助の縮小	検診時の 自己負担額が増額 され、早期発見の機会が奪われかねません。
	難病患者への見舞金廃止	最も支援が必要な方々への「難病患者等に対するお見舞金」が 廃止 されました。
高齢者・交通 住まいの支援	タクシー補助券の支給枚数削減	運転免許のない 75 歳以上の方々の大切な「足」である補助券が、 月 3 枚から 2 枚へと削減 されました。
	住宅リフォーム補助金事業の廃止	地域の住環境整備や地元工務店の仕事を支えてきた 補助金が廃止 されました。
地域経済 文化・イベントの休止	「よっぺ祭り」補助金の休止	市民が心待ちにしている地域最大の イベントへの支援が止まりました 。
	経済活性化事業の全額休止	「歳末ジャンボ」「八重垣市場」「プレミアム付商品券」など、 地域の商売を盛り上げる事業がすべて消えました 。
	商工会・シルバー人材センター補助の削減	地域経済の基盤を支える団体への 補助金が各 10%削減 されました。
公共施設・教育環境の 切り捨て	「勤労青少年ホーム」の廃止・閉館	若者や市民の集いの場が閉ざされ、図書館への統合という形で 実質的な縮小 が行われました。
	「アジサイ道路」の廃止	本市の特色ある観光・景観資源の 維持管理が放棄 されました。

0.9%

自由に使えるお金
【赤色】 1.5 億円 (0.9%)
 新たな政策や市民サービス、突発的な事態（災害等）の対応に使える余裕です。

固定費
（人件費・借入金返済など）
【青色】 約 169.4 億円 (99.1%)
 税収等のうち、あらかじめ使いが決まっており、どうしても減らせない経費です。

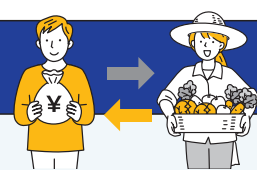
99.1%

匝瑳市の一般会計予算
 (170 億 9,400 万円)

「稼ぐ・広げる・透明化」で財政を立て直す!!

批判するだけでなく、具体的な「処方箋」を。
かりや進一がこれまでのレポートで提言し続けてきた、3つの再生プラン。

改善案① ふるさと納税の抜本改革による「稼ぐ力」の強化



現状	負担を市民に押し付ける前に、 市外から財源を獲得する努力を徹底 します。 隣の銚子市は、地域の魅力を発信し、ふるさと納税で年間約 26 億円（県内 1 位）を集め、子育て支援等に充てています。 一方、匝瑳市は約 7,000 万円にとどまっています。
提言	匝瑳市の豊かな農産物や「体験型」返礼品を再発掘 し、専門チームによるプロモーションを強化します。 さらに「 企業版ふるさと納税 」を 推進 し、市民の税負担を増やさずに、市外から新たな財源を確保して、削減された福祉や祭り（よかっぺ祭り等）の復活を目指します。

改善案② 「広域連携」による徹底的なコスト抑制

建設費総額
約 96 億円



現状	市民病院は 月約 4,000 万円の赤字 を出し続け、 年間約 11 億円を一般会計から補填 しています。さらに、新病院の建設費は 当初想定から約 20 億円も膨れ上がり、総額「約 96 億円」 になることが議会で判明しました。規模を縮小してなお 96 億円にのぼる単独での建設強行は、市の財政を破綻させかねません。
提言	一つの市だけで全てを抱え込む時代は終わりました。旭市、香取市、横芝光町、多古町など 近隣市町と医療・公共インフラの役割を分担・統合 することで、 市民の利便性を守りながら、将来世代への借金を大幅に削減 します。

改善案③ 市民との対話による「透明な行政運営」

現状	76 事業の廃止・縮小で最も問題なのは、「 市民への説明が不十分なまま進められた 」ことです。
提言	市議会でインターネット中継や情報公開を推進してきた経験を活かし、 市民の皆様の声を直接聞く「対話の場」 を徹底的に増やします。隠し事のないガラス張りの市政運営を行い、市民と痛みを共有しながら、共に未来を描く「 納得のいく行政 」を実現します。



市民の皆さまへ

市民サービスが削られる裏で、**新市民病院（約 96 億円）**や**消防署の建て替え（約 48 億円）**という巨額の大型事業が単独で進められています。**市の「貯金」が 8 億円台に激減**する中、人口 3 万人の匝瑳市だけでこの負担を背負えば、将来世代に借金を残すだけです。だからこそ、**近隣市町との「広域連携」と、自ら財源を生む「稼ぐ力」**への転換が急務です。

選挙が終わった今も、私の情熱は揺るぎません。「**身の丈に合った市政**」を取り戻すため、皆様の声とともにパワフルに提言を続けてまいります！



荻谷進一 プロフィール

議長として活動

- 議会をインターネットで公開。
- 議場に国旗・市旗の掲揚。
- 議会全会一致で東日本大震災のガレキを環境衛生組合で受入。

3.11 震災時海岸地域対応

本市財政を健全化に導く

- 財政健全化に向けた提案を、毎議会提言し実行を求めました。

議員報酬と議員定数の削減

- 議員定数・議員活性化等特別委員会。
- 委員長として議員定数を 2 名削減し 20 名にしました。

被災地 調査・慰問

福岡県朝倉市・大分県日田市・新潟県糸魚川市・岩手県岩泉町・熊本県熊本市・茨城県常総市・福島原発（福島県郡山）・宮城県石巻市・新潟県小千谷市・千葉県内：匝瑳市令和元年台風被害。石川県能登半島地震・豪雨災害。

経歴	昭和 41 年 8 月 2 日生（58 歳） 千葉県立多古高等学校 卒業（剣道部） 国土館大学 政経学部 経済学科 卒業（剣道部） 証券会社 6 年間勤務 匝瑳市議会議員（四期）市町村合併期間を含む 八日市場市議会議員（二期）【平成 11 年初当選当時 32 歳】
履歴	匝瑳市議会議員第七代議長 議会運営委員会委員長（歴任） 議員定数・議会活性化等特別委員会 委員長（歴任） 東総地区広域市町村圏事務組合議会 議員監査 3 年（歴任） 総務常任委員長（歴任） 文教民生常任委員長（歴任） 八日市場市ほか三町環境衛生組合議会 議員（歴任） 全国若手市議会議員の会 会員 花と緑の区市町村議会議員連盟 会員 ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 会員 日本再建のため行革を推進する 700 人委員会 委員 東総地区広域市町村圏事務組合議会 副議長（歴任） 匝瑳市議会議員監査役（歴任） 千葉県後期高齢者医療広域連合 議員（歴任） 東総地区広域市町村圏事務組合議会 議員 幹を強くする千の葉の会 会員 アジア経営者連合会 会員 一般社団法人 国土強靱化研究所 会員

その他の役職	飯倉台区長 豊栄小学校 PTA 会長（平成 21 年度） （社）八日市場青年会議所 2006 年顧問 千葉県商工会青年部連合会 副会長・監事（歴任） 法人会青年部 部長 匝瑳市立八日市場第二中学校 PTA 副会長 千葉県立多古高等学校同窓会 副会長 千葉県国土館大学同窓会 匝瑳市支部長 匝瑳市国際交流協会 監事 匝瑳市パークゴルフ協会 初代会長 会社役員
資格	高等学校・中学校 社会科教員免許 図書館司書士 全日本剣道連盟 剣道錬士六段 講道館 柔道初段 二級建築・土木施工管理技士 産業洗浄技能士

かりや進一 後援会

〒289-2148 匝瑳市飯倉台 11-20 後援会討議資料
TEL 0479-79-2001 FAX 0479-79-2006